

## 臨床腫瘍学

責任者・コーディネーター	臨床腫瘍学講座 伊藤 薫樹 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床腫瘍学講座、放射線医学講座、病理診断学講座、緩和医療学科、腫瘍生物学研究部門		
担当教員	伊藤 薫樹 教授、中村 隆二 教授、菅井 有 教授、木村 祐輔 特任教授、前沢 千早 特任教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12.0 時間
期間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

臨床腫瘍学では、臓器横断的な病態や腫瘍の分子病態を学ぶことによって臨床腫瘍学の基礎および標準治療の確立や個別化治療を理解することが求められる。

### ・教育成果（アウトカム）

臨床腫瘍学の講義を通じて、腫瘍の生物学的特徴や症候、診断法や治療法の原理を理解することによって、がん治療を効果的かつ安全に行える思考能力を備えることができる。

（ディプロマ・ポリシー：2）

### ・到達目標（SBO）

1. がんの生物学的特徴を説明できる。
2. がんの緊急症・腫瘍随伴症候群の病態や治療を説明できる。
3. 細胞診・組織診の方法と適応を概説し、がんの代表的な所見を説明できる。
4. 放射線療法の原理、適応および限界を説明できる。
5. 代表的な抗がん化学療法薬について、種類、作用機序、適応となる代表的疾患、薬物投与方法、副作用を説明できる。
6. がん薬物療法の支持療法について概説できる。
7. がん薬物療法の効果と毒性の評価について概説できる。
8. 緩和医療を定義できる。
9. がん性疼痛の種類と病態について説明できる。
10. WHO 方式がん疼痛治療法を説明できる。
11. 鎮痛薬の種類・投与方法・代表的な副作用とその対策を説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
6/21	水	3	臨床腫瘍学講座	伊藤 薫樹 教授	臨床腫瘍学総論
6/21	水	4	臨床腫瘍学講座	伊藤 薫樹 教授	がん薬物療法
6/22	木	3	病理診断学講座	菅井 有 教授	がんの病理診断
6/22	木	4	腫瘍生物学研究部門	前沢 千早 特任教授	腫瘍の生物学的特性と遺伝子異常
6/26	月	3	放射線医学講座	中村 隆二 教授	放射線治療の総論
6/26	月	4	臨床腫瘍学講座	伊藤 薫樹 教授	がん緊急症と腫瘍随伴症候群
6/27	火	3	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	緩和ケア
6/27	火	4	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	緩和ケア

・ 教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	入門腫瘍内科学 改訂第2版	日本臨床腫瘍学会監修	篠原出版新社	2015
参	新臨床腫瘍学 第4版	日本臨床腫瘍学会編	南江堂	2015
参	がん診療レジデントマニュアル 第7版	国立がん研究センター内科レジデント	医学書院	2016

・成績評価方法

試験による。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。  
授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	PC	1	講義スライド用